

まちづくり交付金 事後評価シート
橋本地区

平成21年3月

神奈川県相模原市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	相模原市		地区名	橋本地区		面積	460ha		
交付期間	平成16年～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年4月～平成21年3月		交付対象事業費	6,247百万円		国費率	0.4		
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路改良事業(橋本74号ほか1)、公園(小山公園)								
			提案事業	なし								
	当初計画から削除した事業		基幹事業	下水道整備事業(相原大沢関連)		他補助事業として実施		影響なし				
			提案事業	なし								
	新たに追加した事業		基幹事業	道路改良事業(5路線)、地域生活基盤施設(自転車駐車場改修事業3箇所)		道路改良事業:他補助事業からの移管 地域生活基盤施設:自転車駐輪場の設置台数増要望により追加		目標を定量化する指標として「避難路延長の増加」を追加				
提案事業			地域創造支援事業(やすらぎ立体交差環境整備、交差点改善整備、自転車駐車場整備)、事業活用調査(まちづくり交付金事業効果分析業務)		地域創造支援事業:地域住民からの要望を受け追加 事業活用調査:適切な事後評価を実施するために追加		影響なし					
交付期間の変更	当初	平成16年度～20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	来場者数の増加	万人/日	8.3	H15	10.0	H20	7.3	×	あり なし	旧商店街を中心に来街者数の観測を行ったため減少となったが、再開発等により駅乗降者数は毎年増加しており、賑わいは着実に高まっている。	H23年10月頃
	指標2	防災機能の向上	ha	4.7	H14	7.6	H20	7.6	○	あり なし	小山公園整備事業により目標を達成することができた。	なし
	指標3	商業・住宅系延べ床面積の増加	ha	138.4	H12	173.0	H20	203.5	○	あり なし	都市計画基礎調査が平成23年に実施のため確定値が出ないが、H17年度時点で目標値を上回っている。	H23年5月頃
	指標4	避難路延長の増加	km/k㎡	3.2	H16	3.5	H20	3.5	○	あり なし	用地取得交渉の難航により計画通りの事業が実施できなかったが、関連事業が当初計画より早く整備できたため概ね目標を達成できた。	なし
	指標5									あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	橋本駅の乗降者数	人/日	92,118	H15			103,833			道路整備事業や公園整備事業、優良建築物等整備事業により毎年増加している。	H21年
	その他の数値指標2											
4)定性的な効果発現状況	基盤整備等により駅周辺の利便性が高くなり、賑わいが高まった。これに伴い、駅周辺を中心に民間再開発事業の機運が高まっている地区がいくつかあり、土地の有効利用に向けた住民相互による調整が進められている。											
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況								今後の対応方針等	
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
持続的なまちづくり体制の構築	商業活性化事業のコーディネート機関として「フォレストタウン創造委員会」の設置		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								● 「フォレストタウン創造委員会」等から今後のまちづくりに対し積極的な活動・意見が挙げられるよう、本評価結果をわかりやすく公表すること等を通じて、まちづくりへの参画気運を高める。	

様式2-2 地区の概要

橋本地区(神奈川県相模原市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	従前値	目標値	目標値	評価値	評価値
交通結節点としての利便性を活かし、安全で快適にぎわいのある広域的拠点形成を図る。	来街者数の増加	単位: 万人/日	8.3	H15	10.0	H20	7.3	H20
	防災機能の向上	単位: ha	4.7	H14	7.6	H20	7.6	H20
	商業・住宅延べ床面積の増加	単位: ha	138.4	H12	173.0	H20	203.5	H17
	避難路延長の増加	単位: km/km ²	3.2	H16	3.5	H20	3.5	H20
		単位:		H		H		H



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・広域避難場所は確保できたが、避難場所までの避難路や防災街区の骨格となる延焼遮断帯の整備が必要である。 ・広域交流拠点に相応しい都市基盤整備を進めたが、民間商業施設との連携を促進し、駅周辺地区の賑わいを確保することが必要である。 ・道路整備により駅周辺のアクセシビリティ向上や渋滞の緩和が進んだが、地区外から中心へのアクセシビリティ向上や渋滞解消が必要である。 ・駅利用者の増加に加えて、高齢化の進展に伴いバリアフリー対応が必要である。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の大規模商業施設だけでなく、駅周辺地区へ賑わいを広げるため、中心市街地活性化計画の認定や文化交流・まちづくり等に関する地元組織への積極的な支援を行う。 ・避難路や延焼遮断帯等の防災機能向上や、区域中心へのアクセシビリティの向上を図るため、本事業において実施できなかった道路整備を推進する。また、渋滞解消に関しては、公共交通の活用等、多様な手段の検証を進める。 ・交流拠点となる駅周辺のバリアフリー対策を進める。